

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

以下、本文-----

小児病棟看護師の急変対応体験～病棟における急変対応教育の検討～

1. 研究の対象

31 病棟で救急シミュレーションに参加した方

2. 研究目的・方法・研究期間

当院では、2021 年に急変対応部会が設置された。2022 年から急変の前兆を早期に認識し、早期に介入することを目的とした RRS (Rapid Response System) が開始され、各病棟で救急医の指導のもと急変対応シミュレーションを実施している。今回、急変対応シミュレーションが実際の看護に活かされているか検討するために、病棟看護師対象にアンケートを行った。その結果、2023 年度に急変対応シミュレーション参加した回数の平均は、1 人 1.61/回で、57.7%の看護師が、実際に急変対応を体験していた。また、急変対応に不安があるかという質問に対して、あると回答した割合は 100%であり、より効果的な急変対応シミュレーションのあり方を検討し、看護実践能力の向上に向けた取り組みを行う必要性が示唆された。しかし、実際の病棟看護師が急変対応の際にどのような体験をしていて、どのような不安を抱いているのかは明らかになっていない。そのため小児病棟看護師の急変対応の体験を明らかにし、病棟における急変対応シミュレーションの課題を抽出することを目的とし、本研究に取り組む。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：看護師歴、病棟歴、急変対応経験、救急シミュレーション参加回数

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 31 病棟 担当者名 片岡南帆

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：あいち小児保健医療総合センター 片岡南帆

-----以上